

# Red Hat サービスを利用してエンタープライズにおける自動化を進化させる

Cepsa は Red Hat を利用して競争上の脅威や市場での機会に迅速に対応しました。

「自動化はポジティブな文化的変化を後押しし、その結果、チーム間のコラボレーションが向上しました。... Red Hat は、当社がベストプラクティスを実装し、当社の誰もが彼らの専門知識から多くのことを学べるよう協力してくれています」

**Francisco José Martín 氏**  
Cepsa  
開拓および運用部門  
自動化管理者

## Red Hat Ansible Automation Platform の価値

先進的なビジネスイノベーション、お客様からの要求、新しい競争関係を受けて、自動化は「あると良い」ものからビジネスにとって必須要素になりました。Red Hat® Ansible® Automation Platform は、組織全体で自動化を構築し、運用するための、セキュリティ重視の安定した基盤を提供します。部門を越えたチームをつなぎ合わせ、自動化の開発者、エンジニア、運用チーム間にプラグアンドプレイの体験を提供します。Ansible Automation Platform は Ansible で構築されています。Ansible は強力なエージェントレスの自動化ツールで、プロビジョニング、構成管理、アプリケーションのデプロイを自動化し、オンプレミスおよびクラウド環境でオーケストレーションします。

### Ansible Automation Platform を使用している組織が実現したこと：

- ▶ 投資対効果 (ROI) の向上
- ▶ 生産性の向上 (ストレージリソースのデプロイの迅速化、予定外のダウンタイムの短縮、チーム間のイノベーションなど)
- ▶ 手作業のミスによるコストとリスクの低減

## Red Hat サービスを使用して変革をサポート

Red Hat サービスを利用すると、Ansible Automation Platform にシームレスに移行できます。Red Hat のコンサルタントが実践的な指導を行うので、お客様のチームは成功を維持するために必要な手法とスキルを学び、採用できます。Red Hat のエキスパートが、自動化から測定可能な価値が提供されるように、すばやく反復して戦略的に自動化に対処します。Ansible Automation Platform のインストールと設定を支援し、自動化加速エンゲージメントを通じてチームに自動化を導入できます。

自動化加速エンゲージメントにより、エンジニアはプログラムと Red Hat Services を組み合わせて自動化の初期ユースケースに取り組むことができます。6 - 8 週間にわたって行われるこの取り組みでは、小規模で戦術的なソリューションから始めてこれに集中し、1 つのチームまたはワークフローの反復可能で予測可能なタスクを自動化します。最初の課題としてよく挙げられるものには次のようなものがあります。

### 標準運用環境

Ansible Automation Platform を Red Hat Insights や Red Hat Satellite などの他のツールと組み合わせて使用して、インフラストラクチャの標準化に対処します。中心となるのはシステム仕様の標準化と方法論のプロビジョニングで、既知の良好な構成の標準化されたプロビジョニング、ベースランイメージのデプロイ、インフラストラクチャの基礎となる継続的インテグレーション (CI) パイプラインの確立などが含まれます。

## ネットワーク

Red Hat の各分野のエキスパートがネットワーク自動化コースケースの小規模なサブセットに対応し、ベストプラクティスを共有して、チームが使用してコースケースに追加しながら構築できるようにします。ネットワーク自動化は共通のプラクティスと再利用可能な Playbook を中心として、マルチベンダーのネットワーク・インフラストラクチャ上でネットワークデバイスとサービスをプロビジョニング、構成、維持します。Red Hat のエキスパートが、標準化されたネットワーク環境、高速化したデバイスプロビジョニングと構成 (スイッチ、ルーター、ワイヤレスアクセスポイント [WAP])、IP アドレス管理 (IPAM) およびドメイン名システム (DNS) 管理、ロードおよびアクセス制御リスト (ACL) 管理を詳細に調査します。

## コンプライアンス

これは、既知の良好な構成の確立と維持に対処します。たとえば、何がどこにデプロイされているか、自動化された修復 Playbook、コンプライアンス・プロファイル仕様、ライセンスのコンプライアンスを維持するための戦略、業界で定義されたベンチマークと規制への準拠などです。また、Red Hat Insights と Smart Management を統合して、共通脆弱性識別子 (CVE) の警告、アラート、修復を取り入れます。

## 運用

IT スタックの運用の自動化を中心とします。アプリケーションおよびコンテンツデリバリーのための自動化された継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CI/CD) パイプライン、サービスカタログの作成と発行、サービス拡張、維持、監視などの運用の共通タスクなどが含まれます。また、平均修復時間 (MTTR)、IT サービス管理 (ITSM) 統合、拡張されたロールベースのアクセス制御 (RBAC) 機能、統合のログ記録および監視、効率化されたワークフローのための迅速な対応と診断の取得の自動化も含まれます。

## 自動化への道を進展させる

Red Hat サービスは、初期コースケースに取り組んだ後、より多くのドメインに自動化を拡張させ、このような自動化への未知を進展させるための計画の策定を支援します。

自動化導入のプロセスにより、フレームワーク、ガイダンス、実績のあるプラクティスが提供され、エンタープライズレベルでの機能の投入と加速を成功させます。ここで、Red Hat サービスは成熟した自動化コンテンツを作成するためのプロセスを指導および開発し、お客様と連携して、お客様固有のビジネスニーズにフォーカスした統一された戦略を定義します。これと同時に、Red Hat トレーニングがスキルギャップを解消し、チームが自動化に関する専門知識を習得する支援をします。

### このプロセスは 3 段階のアプローチでお客様を支援します。

1. お客様のプロセスを定義し、部門を越えた業務をサポートする自動化を開発します。関係者を集結させて自動化機能を確認する、自動化を実現する既存のシステムを特定する、チームに新しいテクノロジーのスキルを身につけさせる、などが該当します。
2. 反復可能な手法を使用して自動化を拡張し、導入のパイロットチームを確立します。この後、組織の枠を越えた専門家集団である導入コアチームが、他のチームをプロセスを通じて指導します。テクノロジーを組織全体に広めていく際、Ansible トレーニングが主なチームのオンボーディングを支援します。
3. 組織の最適化、コラボレーション、成長に特化した導入コアチームの進化と構築を継続します。拡張を続けるチームに対して、高度な自動化コースが高度な自動化テクニックの学習をサポートします。

## Red Hat サービスの強み

**ガイド型アプローチ:** Red Hat コンサルティングは、卓越した専門知識をもたらし、Red Hat ソリューションに安全かつ効率的に移行するために必要な情報とスキルをお客様に提供します。Red Hat は、ソースコードと同じように知識もオープンなものとして共有しなければならないと考えています。

**現場で活躍するためのトレーニング:** Red Hat トレーニングと認定では、基盤となる先進的オープンソース・テクノロジーについて、役割に応じた実践的な知識を習得することができます。包括的な[自動化カリキュラム](#)により、自動化投資で長期的な成功を収めるためのスキルを構築できます。

**1対1の特化型サポート:** Red Hat テクニカルアカウントマネージャーのパートナーが、潜在的な問題を発生前に解決し、中断を最小に抑え、主要なビジネス課題に集中できるようにします。

利用を開始するには、[自動化ディスカバリーセッション](#)のスケジュールを設定するか、[Red Hat サービスに直接お問い合わせ](#)ください。



## Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

### アジア太平洋

+65 6490 4200  
apac@redhat.com

### オーストラリア

1800 733 428

### インド

+91 22 3987 8888

### インドネシア

001 803 440 224

### 日本

03 4590 7472

### 韓国

080 708 0880

### マレーシア

1800 812 678

### ニュージーランド

0800 450 503

### シンガポール

800 448 1430

### 中国

800 810 2100

### 香港

800 901 222

### 台湾

0800 666 052

[fb.com/RedHatJapan](#)  
[twitter.com/RedHatJapan](#)  
[linkedin.com/company/red-hat](#)

jp.redhat.com  
#245710\_0323

Copyright © 2023 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。